

史料からみる 日本の歴史



2005.12.17【土】

◇場 所 東京大学史料編纂所

◇募集対象 高校生 約30名（引率教員参加）

◇主なプログラム

- 講演 石上英一「僕は奄美諸島史を知りたい」
林 譲「今日は、自分の花押（サイン）を作って帰ろう
ーモノとしての史料研究の可能性ー」
横山伊徳「モノノミカタが変わるとき」
- 教科書に出てくる史料の本物を見てみよう！
- 史料研究室への招待

◇参加費 無料

◇申込〆切 11月18日（金）（参加には申し込みが必要です）

◇申込方法

参加は、学校ごとに引率者（歴史教育担当）と生徒合わせて5～6人で申し込んで下さい。午後の「史料研究室への招待」には、希望の時代の講義に出席できますので、申し込みの際に、参加者毎に受講希望の班番号（1班：奈良・平安時代、2班：鎌倉・室町時代、3班：江戸時代、4班：江戸時代の日本と外国との関係）を明記して下さい。

申し込み多数の場合、抽選で参加者を決定します。参加が決定した方には、参加通知をお送りします。



史料編纂所は、奈良時代から明治維新までの国内外の日本史に関する史料を集めて研究し、史料集を作っている東京大学の研究所です。前身は1869(明治2)年に始められた修史事業です。1885年から本格的な史料調査を行い、1901年から『大日本史料』などの史料集出版を開始しました。現在その数は1000冊に及んでいます。

史料編纂所では、情報化された歴史遺産として史料を発信し、研究環境を国内外の研究者・市民と共有するシステムを構築するために、前近代日本の史料遺産プロジェクト(平成12～16年度)を実施しました。

- 9:30～10:00 ●受付、開場
10:05～10:15 ●オリエンテーション
10:15～12:00 ●講演
石上英一「僕は奄美諸島史を知りたい」
林 讓「今日は、自分の花押(サイン)を作って
焼ろうーモノとしての史料研究の可能性ー」
横山伊徳「モノノミカタが変わるとき」
12:00～13:15 ●昼食
13:15～13:45 ●教科書に出てくる史料の本物を見てみよう!
国宝島津家文書(刀狩令)、倭寇図巻など
13:45～14:15 ●展示・説明
重要な史料の保存のしかた
14:15～14:30 ●休憩
14:30～15:30 ●史料研究室への招待
史料・データベースによる歴史の研究を、
4班(奈良・平安時代、鎌倉・室町時代、江戸時代、
江戸時代の日本と外国との関係)に分かれて講義
します。
15:30～15:45 ●フリートーク
15:45～16:00 ●修了式
「未来博士号」授与を予定

◆お問い合わせ

東京大学史料編纂所庶務係

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
TEL: 03-5841-5943 FAX: 03-5841-5956
E-mail: jim1@hiu.tokyo.ac.jp
http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html

◆交通案内

東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線
「本郷3丁目」下車、徒歩8分
東京メトロ南北線
「東大前」下車、徒歩10分